

富山県スポーツ少年団軟式野球競技に関するガイドライン（訂正版） （新型コロナウイルス感染防止対策）

富山県スポーツ少年団主催の交流会を行うにあたり、以下の事項、対策を講じることを運営の基本として行う。

なお、本部役員、審判、参加チーム指導者、団員、保護者の全ての者において、当日の検温（37.5度未満）並びに体調に異常がないかを確認し、各自出来る限り2m以上の距離を取り、マスクを着用し、密集しないよう留意する。

1 開会式、閉会式、表彰式はできる限り簡素に行う。

2（1）運営方法に関して

- ・会場滞在時間は、試合時間を含め、密にならないように運営をする。
- ・本部席、ベンチ、トイレに消毒液またはハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
- ・試合終了後は速やかに会場より退出する。
- ・本部は検温器、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

（2）試合に関して

- ・打席、守備につくとき等フィールドでは、マスクを外してもよい。ベンチ内や集合時においては基本的にマスク着用とするが、熱中症予防の観点でマスクを外す場合には、必ず2m以上の距離を取り、会話や応援を控える。
- ・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さずに行う。また、メガホンの使用は監督のみとする。
- ・試合開始、終了の挨拶は、声を出さず、礼のみで行う。
- ・捕手は防具を自ら着用し、補助者を使わない。
- ・審判の判定コールは大声を出さずにジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- ・マスクの着用の際は熱中症等のリスクが高くなるため、給水タイムを取るなど配慮する。

（3）参加チームに関して

- ・会場入りするチーム構成は、引率指導者、指導者（2人）、団員（3年生以上16人）、スコアラー、ボールボーイ（2人）及び応援の団員とする。ベンチ、観覧席等では基本的にマスク着用とするが、熱中症予防の観点でマスクを外す場合には、必ず2m以

上の距離を取り、会話や応援を控える。

- ・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行い、チームのジャグ等禁止とする。
- ・昼食をとる場合、対面にならないよう2 m以上の間隔を取り、会話を控え、最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
- ・試合終了後は速やかに帰途に就くこと。
- ・団員の移動については全ての車両においてこまめな換気を行い、密閉、密集、密接にならないよう注意する。
- ・会場に入れるのは、団員1名につき、保護者等2名までとする。
- ・健康チェックシートを提出する。

※交流会に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、団員、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

(4) 参加の可否に関して

大会への参加について、次の者（応援者含む）の参加は認めない。

1. 体温が 37.5 度以上及び発熱症状がある者
2. 咳、喉の痛み、だるさ（倦怠感）などの体調不良がみられる者
3. 政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている者
国・地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある者
4. 濃厚接触者と認定された者
5. 学級閉鎖中の団員
6. 新型コロナウイルス陽性者と認定された者
7. 保護者や所属スポーツ少年団から参加を認められていない者
8. 上記以外の事項で対応について検討が必要な場合は、協議して決定する。

※同一チームの上記に該当する者以外の選手や身近に感染者や感染疑いのある者の出場について

当日、抗原検査キットにて「陰性」の結果が出た者についての参加は認める。

以上が交流会のガイドラインですが、感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加団員、保護者にはよく説明を行い、同意、承諾の上で参加、活動をお願いいたします。

なお、交流会開催中においても、感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は、交流会及び試合を中止することがあります。

以上